



藍住町中学生議会～凍とした姿勢で臨む～

10/31(火)に藍住町役場の議場において、「藍住町中学生議会」が開催されました。本校の生徒からは、ブロック塀/熱中症アラート対策/町図書館での自習/食品ロス/新型コロナウイルス、などに関する質問があり、町の担当者より本物の答弁がありました。大人顔負けの堂々とした発表ぶり、名議長ぶりに圧倒され、何より、凍とした姿で議場に座る質問者や傍聴者の生徒のみなさんの姿が心に残りました。後で聞いて見ると、「まっすぐに座ろうと頑張りました。もう限界でした。」と話し、そこまでの気持ちで臨めていなかった自分自身が恥ずかしくなりました。ほんとうに素晴らしい生徒に支えられているのだと改めて思います。



学年合唱コンクール～かける思いを歌声に～

11/6(月)に合同教室において学年合唱コンクールが開催されました。入場制限もコロナ前に戻し、保護者の方にも参観していただきました。今回は学校行事の関係で練習時間が短く、特に3年生においては音楽の研究大会が直前にあったことで、練習は放課後等を使っての自主練習となりました。ところが、予想をはるかに上回る歌声とハーモニーで、合唱コンクールにかかるそれぞれの学級の思いが伝わってきました。生徒から、「楽しかった。自分達で選んだ歌がみんなの前で歌えて誇らしかった。」という声を聞きました。藍中のみなさんの歌声は、学校という場がかけがえのないものであることを改めて教えてくれました。



合唱コンクールCS～時間よ止まれ～

11/8(水)に藍住町総合文化ホールにおいて合唱コンクールCS(チャンピオン・ステージ)が開催されました。各学年で金賞に輝いた3つの学級が、NHKホールのようなステージで心に響く美しいハーモニーを聴かせてくれました。まるで時間が止まったように魅入った瞬間であったことと、二度とこの時間はこないのだということを強く思いました。また、このような素晴らしい会場を使わせてくださる藍住町行政に感謝いたします。



(生徒会長挨拶)

歌を歌うことはたくさんの人々に感動を与えることができます。みなさんは「イマジン」という曲を知っているでしょうか。この曲は激化するベトナム戦争の最中、かの有名な世界的歌手ジョン・レノンによって作曲された曲です。ジョン・レノンは「イマジン」を通して宗教間の対立や支配欲から生じる戦争を無意味なものとし、世界平和を訴えました。そして、「イマジン」は多くの人々の共感を得、社会現象を巻き起こしたのです。現在、世界では未だ戦争や侵攻が耐えず続いています。そんな今だからこそ、共に歌い心を一つにする重要性が高まっているのではないのでしょうか。今日は全学年から選ばれた代表のクラスにこの舞台で歌っていただきます。3クラスの歌をしっかりと聴き、この合唱コンクールで学んだこと、経験したことを大切にしてください。

「とまり木ルーム」について～お知らせ～

不登校に関する国の方針として2016年に教育機会確保法が施行、2023年には文科省が「COCOLO(ココロ)プラン」を提唱し、学校の中に教育支援センター(スペシャルサポートルーム等)をつくらうという動きがあります。そこで、本校においても今できる事に取り組もうと、「とまり木ルーム」を設置しました。週に2回の午前中だけですが、徳島大学 内海千種教授の研究室の協力により、臨床心理士を目指す学生の方が携わってくれることになりました。内海先生はトラウマ研究の第一人者であり、徳島県教育委員会が取り組んでいる「ポジティブな行動支援(PBS)」の研修講師も務められています。

(詳細は別紙「とまり木だより」をご覧ください)